

内科専門医に聞く

腎・高血圧科部長 **きめの ひろゆき**
絹野 裕之



人工透析と生活習慣病について

Q. 人工透析ってどんな病気の治療？

何らかの病気を患い、それに伴って腎臓の働きが悪くなった場合は、腎不全になります。腎不全が続き悪化すると慢性腎臓病、重症化し腎臓の機能回復が認められなくなった状態が、末期腎不全です。

このような状態になると、薬と注射だけでは生命を維持できなくなるため、そこで、人工透析が必要となります。

Q. 腎臓ってどこで何をしているの？

腎臓は腰の上のほうに、背骨をはさんで左右に1個ずつあり、ソラマメのような形状で、人のこぶしぐらいの大きさをしています。腎臓は血液から老廃物を取り出す機能があり、取り出した老廃物を尿（おしっこ）として排泄しています。腎機能は知らないうちに低下している可能性があります。

Q. 人工透析の実際は？

人工透析には血液透析と腹膜透析の2種類があります。血液透析は前腕の動脈と静脈をつなぐ手術をして、太くなった静脈の2か所に針を刺し、この回路図のように血液を外に出してきれいにします。これを週3回4時間で行います。

（資料①「血液透析（HD）の回路図」）

一方腹膜透析は、腹部に管を入れ、おなかの中に数時間透析液をため、1日2～4回透析液を出し入れします。これを毎日行います。

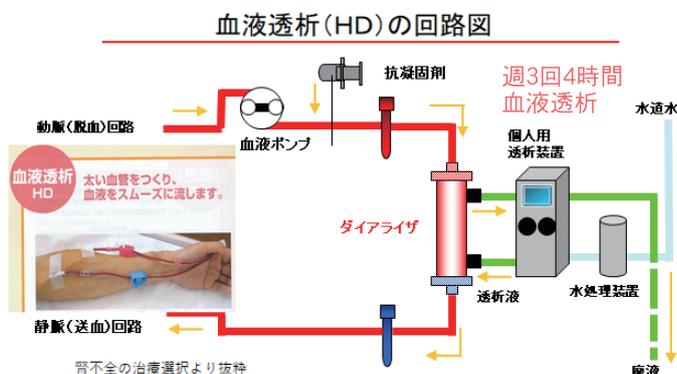
（資料②「腹膜透析（PD CAPD）」）

Q. 人工透析になる原因は何でしょうか？

第1位は糖尿病です。第2位は近年増加している高血圧症による腎硬化症であり、特に高齢の方が多くなっています。

糖尿病、高血圧症はいずれも生活習慣病です。日頃の生活習慣の乱れ、また治療が不十分だと末期腎不全となり透析が必要になります。ですから、末期腎不全にならないように、まず若いときから健康診断を受け、糖尿病、高血圧症とともに慢性腎臓病（尿蛋白、腎機能）の評価をきちんと受けましょう。早期発見・早期治療が大変重要となります。すでに治療を受けている方は、かかりつけ医の先生と相談しましょう。

資料①



資料②

